

(4) 中部北地域



地域の 将来像

稗貫川に沿う自然に囲まれた 果樹と街道のまち

主な特性 稗貫川中流・下流と遠野街道に沿って拓かれた地域

土地利用

◇水と緑豊かな自然に囲まれたコンパクトなまち

- 食糧生産基地として優良農地の活用を図る土地利用を基本とし、農地や里山については、環境、防災などの観点から保全を図ります。
- 商店街が形成されている大迫地区を総合サービス拠点と位置づけ、地域の特色を活かしながら安全なまちづくりを推進します。
- ワインや早池峰山をテーマとした観光・レクリエーションの拠点づくりを進めます。

交通

◇既存インフラの改良と活用

- 生活の利便性や観光客の吸引力を高めるため、国道 396 号の交差点改良を検討します。

緑地

◇きれいな水と空気の保全

- きれいな水や空気を守る森林の保全や、緑とふれあえる戸塚森森林公園の保全・活用に努めます。
- 北上川と稗貫川の川沿いの緑を守り、緑のネットワークを形成します。

定住環境

◇「人が自然へ、自然が人へ」語りかける、共生のまち

- 公共下水道及び集落排水事業による汚水処理施設の利用促進や、浄化槽整備事業により、森林と宅地が近隣する環境を活かし、人と自然が共生する地域づくりを進めます。

景観

◇街道の魅力と個性ある街並み景観の形成

- 街道沿いに残る古い街並みを活かした魅力ある景観づくりや果樹園などの特色ある耕作景観及び戸塚森森林公園からの眺望景観の保全に努めます。

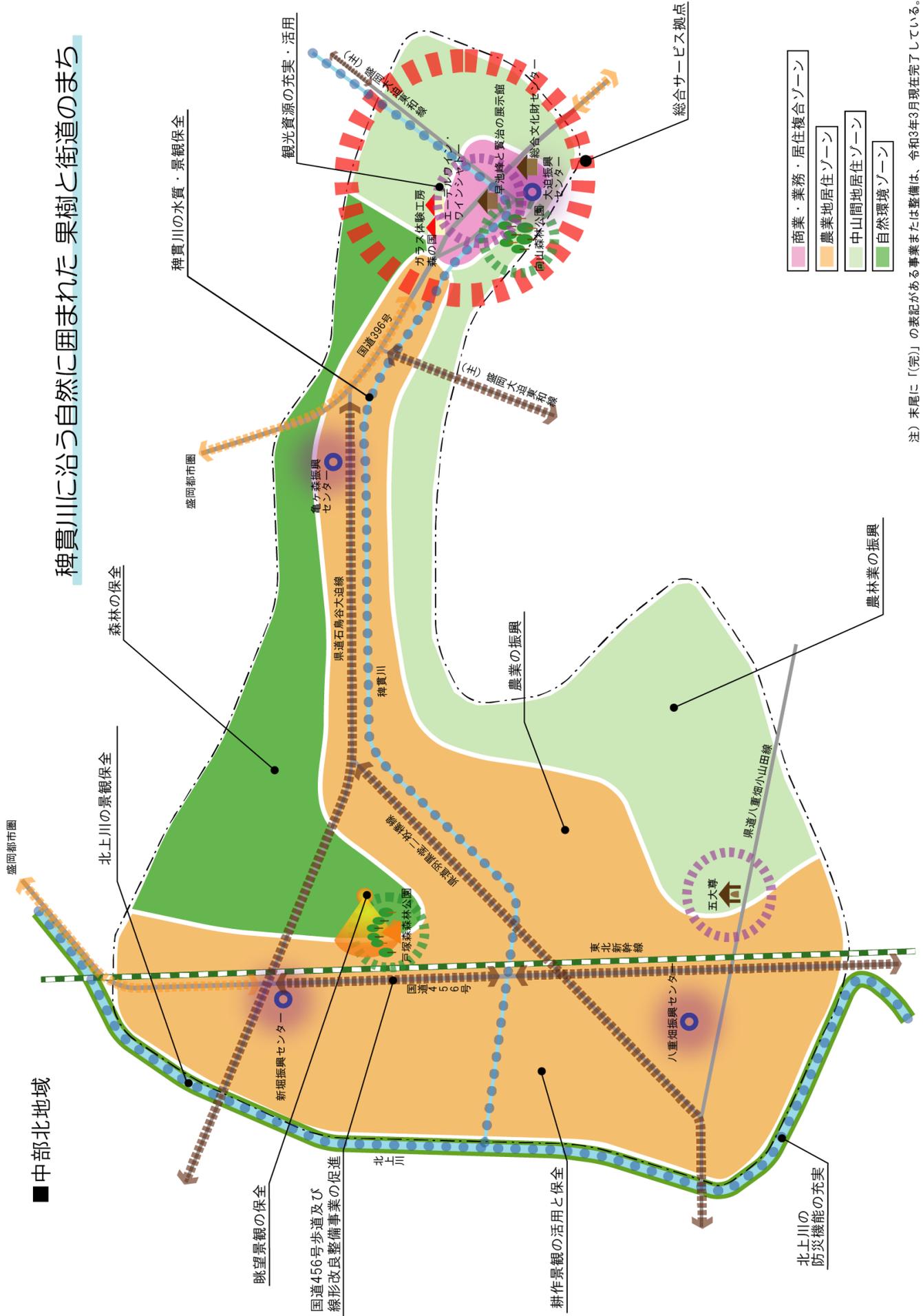
安全安心

◇安全な市街地の形成と、治水・治山対策の促進

- 急傾斜地崩壊危険箇所などでは、防災対策の促進を図ります。
- 水害防止のため、北上川をはじめとする河川の築堤や改修を促進します。
- 防災面に配慮した土地利用を推進し、災害危険箇所のハザードマップを活用し、防災対策に努めます。

■ 中部北地域

稗貫川に沿う自然に囲まれた果樹と街道のまち



注) 末尾に「(完)」の表記がある事業または整備は、令和3年3月現在完了している。